

令和6年度 第1回刈谷市ごみ減量化推進会議議事録

日 時	令和6年9月18日（水）午後2時00分～午後3時20分
場 所	刈谷市役所3階 301会議室
出 席 者	ごみ減量化推進会議委員 12名出席／18名 ごみ減量推進課 平出課長、並木課長補佐、奥村係長、三浦
議 題 等	(1) ごみ減量化の進捗状況と施策について (2) 一般廃棄物処理基本計画について その他 ・小型充電式電池の引き取りについて
<p>1 あいさつ 【刈谷市産業環境部 伊藤部長】 : この会議は、市民、事業者、行政が共同でごみ減量化を推進する重要な場であり、平成6年から開催しています。昨年度は委員の皆様の助力で新たな「刈谷市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。ごみ減量とリサイクルの推進は皆様の協働・協力が欠かせません。今後も刈谷市のごみ減量推進のためにご協力をお願い申し上げます。</p> <p>会議の説明等【事務局 平出課長】 配布資料の確認。 資料20ページの「刈谷市ごみ減量化推進会議設置要綱」に沿って説明。本日は委員18名中12名が出席。過半数の出席であるため会議として成立する。 事務局の紹介</p> <p>2 会長、副会長の選出 要綱第3条第3項の規定により選出を行う。 委員の互選により、会長は愛知教育大学の榊原委員、副会長は刈谷市自治連合会の保田委員が選出される。 以後、榊原会長を議長とし、次第に沿って進行。</p> <p>3 議題【事務局】 (1) ごみ減量化の進捗状況と施策について 資料p.1に沿い、ごみ減量化に関連する施策の報告。 (2) 一般廃棄物処理基本計画について 資料p.11に沿い、刈谷市一般廃棄物処理基本計画の全体の構成について説明。 今後、社会情勢やごみ収集量に照らしながら、計画の評価・検証を行なっていくことを説明。</p> <p><意見等> 【委員】 段ボールコンポストについて、自分自身は今年度に初めて知り、取り組んでみる。実際に取り組んでみるとごみの減量効果が非常に高く、臭いやごみ出しの手間も抑えられ、感動した。市はもっと推進すべきでは。</p> <p>【事務局】 ごみの減量にご協力いただき感謝する。使用者の声を取り入れるなど、広報の仕方を工夫して、より推進していきたい。</p>	

【会長】

段ボールコンポストの減量効果は確かにあるが、市内の全域、全世帯で有効な手段であるかと言われると、必ずしもそうでない側面がある。女性の会の取り組みを市として促進することは有効であるので、段ボールコンポストというものがより広く認知され、有効な世帯が活用できるように進めてほしい。

各団体と市との繋がりを強め、様々な団体の活動によりごみの減量に貢献されていることを把握し、実績の増減を正しく分析できるようにしてほしい。

【委員】

ごみの分別に関して、自身でも迷うことがしばしばある。ごみの分別を案内する動画、特に子ども向けの案内動画を作り、啓発することが有効では。市民だよりなどの紙媒体による広報も見やすいが、スマホを利用した広報の手段を増やしていくことが有効であると思う。

資料 p.3 小中学校牛乳パック、ペットボトルのキャップ回収に関して、様々な団体でこのような活動を行なっていると思うが、市の主導により、高校生や一般の市民など広い範囲からも受け入れられるようにできるとよいと思う。

資料 p.10 廃食用油リサイクルに関して、もし燃料などに有効に利用できるのであれば、市民館や市の施設などで回収できる体制ができ、市民がもっと気軽に提供できるようになるとよいと思う。

【会長】

分別不適のごみは、処理施設への負荷や収集現場の負担の増加に直結するものである。様々な自治体で分別アプリや分別案内の電子化などが進んでいる。情報はアクセスしやすいことが重要であるので、ぜひ刈谷市でも一層推進してほしい。

【委員】

昨今、ストローや包装がプラスチックから紙へ移り変わり、プラスチック製品を減らそうという動きが目立つ。仮に紙製品が増えていったとして、ごみになった場合は結局燃やしてしまうのだから、実態は同じことなのではないか。

【会長】

プラ製品は、石油製品であることや自然分解がされないことなども要因となり、問題視されているものである。もとは加工しやすく安価で便利であったためここまで普及したものだ、正しく処分をするうえではとても長期間コストがかかり、正しく処分されないと長期間自然環境に対し影響を及ぼすものである。そういった理由で、脱プラスチックの気運が高まっているものだと思う。

【委員】

刈谷市の焼却処理施設は高性能であるため、プラ製品を焼却しても問題ないという噂を耳にしたことがあるが、実際はどうなのか。

【事務局】

燃やせるごみに混入したものが確実に処理されるよう、十分な火力で焼却しているが、リサイクルの観点から、今後も分別に協力はお願いします。

【委員】

衣類のリサイクルに関して、とあるメーカーが自社製品に限り回収しリサイクルを行なう取り組みを行なっているというニュースを聞いたが、現在だと刈谷市内で行われている衣類のリサイクル回収場所は限られ、利用しづらいと思う。更に拡大し、利用しやすくなるとありがたい。

【会長】

不要品のリサイクルについては、市が収集を行う場合、適切な排出量を見込み、収集にかかるコストに照らし、運用が必要になる。リサイクルを行なう業者の選定も必要になる。市民が利用しやすければ回収量が増加しごみの減量につながるようになると思えるので、ひとつの意見として市には捉えてほしい。

ほか、質問及び意見なし。

3 その他【事務局】

資料 p.19 に沿い、今年度より刈谷市資源回収所にて小型充電式電池の回収を開始したことを報告。

質問及び意見なし。

ほか、会議全体を通して質問及び意見なしと確認。

次回会議の連絡【事務局】

次回会議は令和7年3月18日（火）午前を予定